



第 13 号

昭和58年3月25日発行  
 榑浜コミュニティセンター  
 運営協議会広報部  
 ☎ (0834) 25-2002



# 和裁クラブのみなさん

榑浜の人口 (3月1日現在)  
 榑浜合計 7,357人 (2,368世帯)

0~14才	男	781人	女	731人	
15~24才	男	477人	女	465人	
25~59才	男	1,842人	女	1,887人	
60才~	男	500人	女	674人	
				計	
				男	3,600人
				女	3,757人

○ メンバーの皆さんは生活体験の豊富な、23才より54才と幅広く人生相談あり、料理講習あり：：のなごやかな奮闘気の中で手を動かしておられました。

○ 初心者でも子どものゆかたや、ご主人様のウールがすぐ縫えるようになります。

” 家族の皆さんに  
 貴女の手づくりの  
 着物を ”

・ 只今のメンバー 9名

・ 指導者 清水シズエ先生

・ 月 三回 金曜日  
 10時~16時

・ コミュニティセンター  
 一階シルバールーム

・ 会費 一〇〇〇円+  
 一〇〇円  
 (維持費)

・ グループの世話人  
 野村喜美子さん  
 (栗南三)

・ お問い合わせは  
 公民館へ

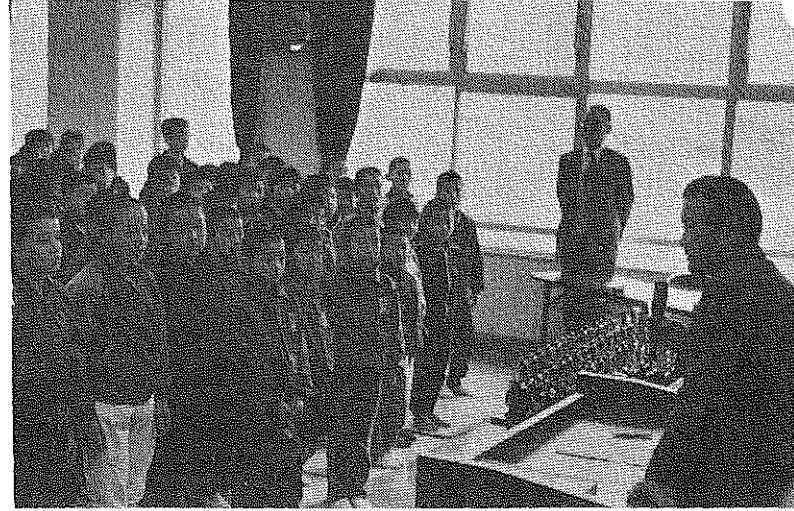
☎ 二五〇五二六

# 式退入少スポ

## 振興会だより

### 58年度新団員

	4	5	6
野球	22	18	16
サッカー	23	19	22
ミニバスケット	6	16	9
剣道	9	11	8
女子バレー	0	12	10



サッカー(六年)長沼道明

ぼくが、スポーツのサッカー部に  
入部した時は、三年生の  
時、体育でライオンサッカーを  
やってたからです。入部す  
る時、母が又いるのなら三年  
続けなさいと言いました。  
二度入ったんだから三年間  
は続けらると思いましたが、  
ぼくは、試合に行ったらその日  
たいてい頭が痛くなり、ゲン

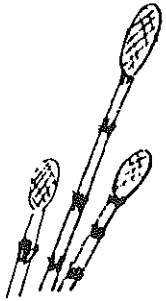
タリする時が多けれど、翌  
日は学校に行かないとゆう  
ことはありませんでした。

ぼくは、三年間だけをし  
ていないだけに、四年から六  
年までの試合で休んだこと  
はありません。晴れの日も  
雨の日も試合が出来たのは、フ  
ーボールや母栗園の方々のお  
かけです。中学に行ったら  
ブブサッカーがないのが残念  
に思います。

◇退団者代表あいさつ◇  
剣道(六年)森皇由美子

剣道部が出来た二年  
私がかつこの良さに  
ひかれて入りました。  
まず、はきものをそ  
ろえること、おじぎの  
しかたなど一つ一つな  
らいました。夏の防具  
をつけたいのは冬に  
も暑く、そして冬にけ  
いこは冷たく、うた水  
た腕はなみだが出るほ  
ど痛かったです。  
つもうやめたいと思  
ったことも何度かあ  
ったけどそんな時、先生  
の大きな腕がだき込ん  
でくれて、「良くがんば  
ば、たしと背中をた  
いてはげましてくだ  
いりました。そんな時は  
面の裏で出るなみだが  
汗に変わって、ファイ  
トが出ました。小手、面  
で勝った時の痛さがわか  
りました。  
この痛さを思い出し  
て、今後むがんばって  
いやり通していこうと思  
います。

春で  
すね



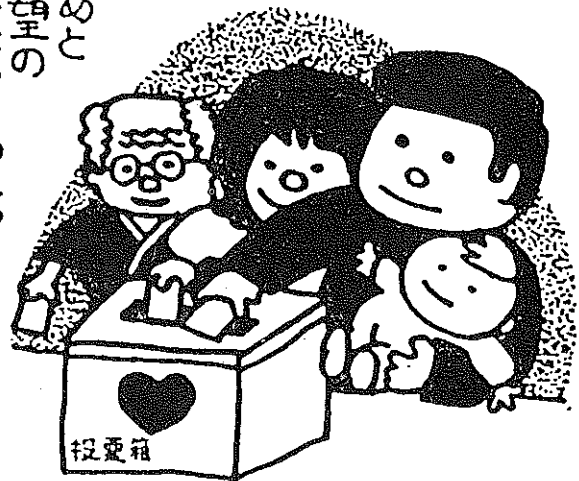
# 県議選

4月10日(日)

市長・市議選

4月24日(日)

ゆめと  
希望の  
あじのたぐひ



権者数	前回投票率
権者数	前回投票率
78人	75%
2,552人	52%
1,907人	45.2%
715人	56.9%

(明るい選挙推進委員 池田代志美)

## 野球(女子) 長棟 修

ぼくは、三年前ユニホームに  
あこがれて野球部に入団し  
ました。先輩たちの練習  
を見たりして、敬愛といは思  
っていましたが、予想以上でした。  
その中でもケツバントが一番  
思いつけになりました。でも、  
楽しい思い出の方が多く、つり  
大会やキニアなどともしたの  
しかったです。残念なのは、試

○ 二月三月行事結果 ○

※2/6 県ミニ。バスケット

交歓大会

楯浜 19対14下 関

楯浜 8対36江ノ浦

※2/6

下松市

少年サッカー大会

Aチーム 第三位

Bチーム 第二位

Cチーム 第一位

※2/13

歩く会(室 積)

18名の参加でした。

※2/27 第26回地区

卓球大会

一位 栗 南

二位 東本町二

三位 居 守三

(団体)

(個人)

一位 野村友子さん

二位 杉山律子さん

三位 林 春子さん

合に勝てなかったことですが  
勝ち負けよりチームワーク  
だと思えます。四年生の時  
から退部する人も少なく  
六年の最後まで三年をも  
のりしました。これもコーチ  
のおかげとチームワークが良  
かたかつたと思えます。  
これから中学生になっても  
三年間身に付けたことを  
いかして一生けんめいがんば  
ろうと思えます。

※3/6 スポーツ少年団

剣道大会

男女二回戦で敗退

※3/6 開東サッカー

柳井大会

Aチーム 一勝二敗

B・Cチーム

PKで一回戦敗退

Dチーム 優勝

(六年生の皆さんよくガ

ンバリましたネ！)

三月五日

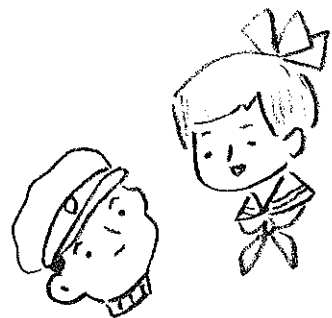
楯浜公民館

愛の献血(青年団)

男 33名

女 36名

ご協力を  
感謝!!



NEWSLETTER

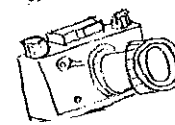
卵は一週間以内

中位の卵1個に約6gのタンパク質が含まれ、アミノ酸構成もすぐれています  
新鮮なうちは、サルモネラ菌の増殖を抑制する力がありますが、古くなると、この力が弱り菌が増殖するので、なるべく鮮度のよいものを使い、保存は10°C以下で1週間以内を目安に!

あなたの

コーナー

漁火俳句抄



芝を焼く  
火は火を呼びて 黙くるなり  
豆をまく  
中町 三宅まき

声が隣に 老宵寝  
浴 磯村潮花

編集後記  
初めての手づくり  
ニュースで部員一同  
テンヤワンヤでした。  
タイフ・手がき・カ  
ット……切ったり、リ  
ブけしたりでお見苦  
しいと思えますが、悪  
しからず、次回から  
ガンバリます。

塩田 倉重佳徳殿

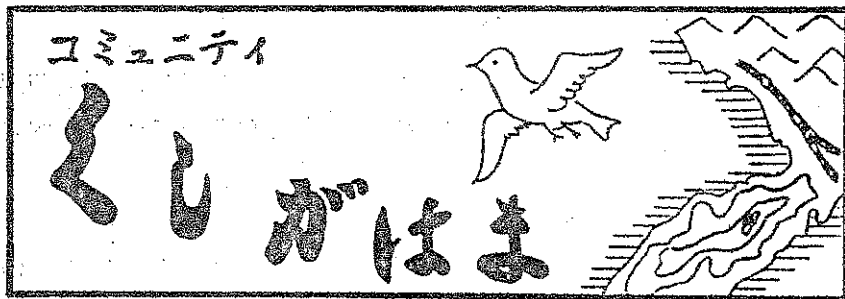
ありがとうございます。  
◎金一封 (図書購入費として)

行事予定	
3/26	榎浜地区子ども会
:27	ジュニアリーダー研修会 (大田原)
:30	地区婦人会総会 (コミセン)
:30	講演会 (演題・女性と文学) 山口女子大学 教授 (コミセン) 福田百合子先生 午前10:30
4/2	子ども会役員会 (公民館)
:3	地区社協・ 連合自治会総会 (コミセン)
:3	太華山安全祈願祭 (太華山)
:10	県議会議員投票日
:12	婦人会支部長会 (公民館)
:17	第52回徳山地区 ソフトボール大会 (周南緑)
:17	春季ミニバスケット大会 (夜市小)
:24	春季軟式テニスボール大会 (周南緑)
:24	市長・市議選投票日
:29	親子ハイキング大会 (太華山)
:29	第4回市家庭婦人 バレーボール大会 (市体館)

おめでとうございます (1月~2月届出)

(結婚)		
開作北 八坂龍彦 孝枝	華西 石光孝夫 あつ子	旭町 柳 知明 洋子
開作南 内藤三十志 周陽転出	西磯町 勝田真人 金剛山西転出	大工町 井川博志 東山町転出
西浜町 山杉道夫 幸枝	金剛山東転出	
(誕生)		
西本町 藤井茂光 寿光ちゃん	浴 児玉邦彦 梓ちゃん	峠 東 隆典 晃洋ちゃん
中磯町 岡成 馨 香里ちゃん	浴 磯村豊晴 尚子ちゃん	





＝ 号 外 ＝

第 13 号

昭和58年3月25日発行

横浜コミュニティセンター

運営協議会広報部

☎ 25-2002

## 第 5 号 海 面 埋 立 事 業 説 明 会 の 概 要

前号に引き続き、今号は質疑応答の概要をお知らせします。

### 質 問

基本的なことをただしたい。説明会は昨年6月（昭和56年6月）以来音さたなしである。何々の権利者または自治会単位に説明されるのもいいが、私たちは横浜の全体のことを考える。市はどここの団体にいつてよいか分らなかつたとしても何の説明もないという不満がある。

### 回 答

説明会については指摘されたとおりであり、教多く説明しなければならないことを承知している。市なりに考えて、迷惑をかける地先から順次やつており、了解を得るのに時間がかかり、今日まで延々になつて申し訳ない。これから周辺のみなさんとなるべく話し合つて行きたいので、よろしくお願ひしたい。

### 質 問

これまでの説明で、市のためになるということとは分かりましたが、なぜここに5号埋立をするのか説明して欲しい。

### 回 答

8号埋立にしたらどうかという意見もあつた。下水処理場を例にすれば、下水処理は毎日のことで、なるべく費用のかからない方法で汚水を1ヶ所に集めるといことが、処理場を計画するときの最大のポイントである。運転費用の高い処理場は、みなさんの下水料金にはねかえつてくる。したがつて処理場の付近のみなさんに迷惑をかけず、なるべく維持管

理費も安い自然流下を利用できる所がよい。市の東部は、東川を境として横浜地区に落差が集まつており、自然流下で集めるにはこの地区が適地である。仮に、8号埋立地に建設するとすれば、横浜に一度集めてポンプアップするため、3～4ヶ所移送ポンプを造る必要があり、移送管の埋設も、陸は工場群、海はパイプライン、航路があり、敷設工事や維持管理が難しい。以上のことから東部の汚水は横浜地区に集めてもらい、なるべく住宅から離れたところに設置し、緩衝緑地でもつて遮断するなど、環境を悪化しないようにして処理させてもらうことで、この位置を選定した。

卸売、青果市場にしても、周南地区を市場圏とするから、その中心は下松、光に近い方が便利で、流通機構からして山陽自動車道、国道2号および118号線等の幹線道路の利用しやすいことから、この地が好ましい。

### 質 問

徳山市の中での横浜という立場から、今後横浜をどうしていくのか。

### 回 答

私たちが聞いている範囲で横浜のまちづくりを説明したい。先に説明した鍛冶屋川沿いの道路については、現在都市計画課で関係者に測量調査の依頼をしており、昭和65年度までに、下松、新南陽線に至るまでを完成するよう計画している。

次に漁業組合の前を経て6号埋立地を通り、5号埋立の幹線までもつてくる。いわゆる臨港線道路（約16M幅員）は先に公表したが、この臨港線と国道188号線との間の横浜のまちを3本か4本、たてに抜く道路を計画しているが、位置については地元の方と協議して決定したいと考えている。

特別開発部は埋立事業と取付道路を担当するが、市としても、この埋立事業等を契機に横浜のまちづくりを関係課で計画であり、地元とよく協議しながら進めてゆく考えである。

### 質 問

横浜は消防車も入らないところもあり、まちづくりが必要である。まちづくりの計画は5号埋立が完成したあとになるか。

### 回 答

埋立が完成するのは昭和65年ごろであるが、それ以後ということではなく、予算的なこともあるが、ある程度並行してやるよう議会などでも協議している。

質 問

今は徳山市でなく、どこの市でも税収が減少している。予算面ではどうですか。

回 答

5号埋立をするため約150億円を特別開発部が借金をして6年間で完成する。用地ができたら処理場、青果市場と卸売団地建設のため、それぞれ特別会計または卸売業者に売ることにしており、一般会計の方にはなるべく負担をかけないよう進めてゆく考えである。

質 問

橋浜の密集地区を整理する必要性は地区のみんなが考えている。埋立と同時に、まちづくりをやるということだが、その移転用地は6号埋立地を考慮しておられるのか。

回 答

特別委員会でも、臨港線を発表し、まちの中のたての線は地区の方々と相談して決めるといつている。また6号の埋立地は、橋浜のまちづくりのための換地等に使う予定である。

質 問

具体的な質問に入りたい。埋立てる土はどこから運ぶのか。

回 答

埋立土量は護岩の裏を入れると約400万 $M^3$ になる。処理場用地については60年度まで完成したいので、必要な土量約180万 $M^3$ は、秋穂、黒髪から船で運搬する。あとは建設残土で、予定している山陽自動車道の残土は公団との折衝の中で、陸送することは困難なので、福川、常田まで出して、船で運ぶ計画である。市内の建設残土は取付道路ができた段階で車で運ぶ予定である。

質 問

下水処理物の臭気の問題はないですか。夏場は窓をあけるので特に心配です。

回 答

この処理場は、臨海の処理場のようにバキューム車は入らないので臭いは少ないと思う。施設は最新の技術でもつて維持管理をよく行い、住民に迷惑をかけない。

質 問

処理場ができたら、バキューム車による汲取りは廃止されるのですか。また浄化槽を設置している者はどうすればよいですか。

回 答

水洗化を全部するべく努力するが、どうしても処理できないところは、バキューム車で取る以外ないので廃止することはない。橋浜地区は細い道が多く、どの道路にも面していない家がある。詳しい調査をしていないが、約3割位は、取りにくい家があると推定される。地元の3議員からも、できるだけ下水処理をするよう要望が出ているが、市は全部水洗化を目指している。だいたい1メートル位の道幅があれば何とかやれると思われるし、家の下を通したり、数戸で共同して道まで管を出してもらえれば、何とかやれると思う。ただ、どうしても管敷設等が難しい方は、家を建てかえるときか抜き、壊してもらえばよく、改造費も無利子で貸付ける制度がある。

質 問

ゼロメートル地帯のところはどうするのか。

回 答

特に漁業組合がある周辺は低い地域で、高潮のとき水はけが悪い。分流式だから、污水管は独自に地盤から約8メートル位下に埋設し、それに家庭の雑排水の管を取付けるので、污水がとれないという心配はない。

質 問

まず、まち通りから下水処理できるということですが、最終的にどの範囲までですか。また、居守の方はどうなりますか

回 答

この東部処理場は、市内で一番大きい処理場となり、既設の臨海にある処理場の倍の88000人分、水量で72000トンの処理能力がある。面積は14ヘクタール、約5~6倍大きく、将来人口を考えても十分余裕があり、3次処理用地もとっている。

下関の処理場の場合、将来水道料金位の下水道料金をとるようになると思うし、これからは国も下関のようなものは補助を認めない方針である。したがって、徳山市ではオープンに展開した管理しやすいものを作り、臭い等の被害が周辺に及ばないように面積をたつぷりとつたものである。大分の処理場が臭かつたとの感想があるが、臭気によつて生活環境を悪化させることはない。

処理区域については、最終的にここに入る地域は遠石、一ノ井手の1部、久米坂本、橋浜など徳山市の東部1200ヘクタールである。一挙に進めるのは予算的なこともあるし、下水管敷設工事中にいろいろ迷惑をかけるので、みなさんの協力がないとやれない。今回の認可区域は、大踏、小踏、橋浜、久米の1部、旭町などで、居守の方は入っていない。

◎ 次号でも、質疑応答の概要を予定しています。